

グローイング・アップ (1978)

LEMON POPSICLE
GROWING UP
ESKIMO LIMON

メディア 映画
ジャンル 青春 コメディ ロマンس
製作国 イスラエル／アメリカ
色彩 Color
時間 95分
初公開日 1979/02/10
公開情報 ヘラルド

【キャッチコピー】
1958年、その時あの歌が聞こえてきた。

【解説】
ベンジーは親友のボビーやヒューイと連れだって今日もディスコでガール・ハントをする毎日を送っていた。そんなある日、彼は同じ学校に通う美しい少女ニキに一目惚れしてしまう。しかし、あるダンス・パーティの夜、彼はニキが実はボビーと付き合っていた事を知らされた上に、彼女自身の口から妊娠していると聞かされ愕然とする……。これは、1958年のイスラエルを舞台に、17才の高校生達の生き生きとした行動を通して、友情、セックス、初恋と失恋、そしてこの年代に体験する様な喜び、苦悩、不安などいつの時代にもある思春期の生活をスケッチし、それをユーモアとちょっぴりの涙で綴った、青春映画の快作である。この後登場する「ポーキーズ」などの“エッチ系青春映画”ブームの火付け役になった作品であり、その内容は性に対する描写がその大半を占める作りとなっている。作品の出来も上々で、当時、同年代の共感と呼んで大ヒットをし、この後シリーズとして続いてゆくに至る。また、本作のヒットのもう一つの要因として、彼らが繰り広げる青春劇の背景に流れる音楽も忘れてはいけなない。“ヘイ・ポーラ”、“ミスター・ロンリー”、“ダイアナ”など、いわゆるオールディーズと言われる音楽を全編に渡って使用し、彼らのほろ苦い青春像を一層引き立てるのに成功している。

【クレジット】			
監督	ボアズ・デヴィッドソン	Boaz Davidson	
製作	ヨーラン・グローバス	Yoram Globus	
	メナハム・ゴーラン	Menahem Golan	
脚本	ボアズ・デヴィッドソン	Boaz Davidson	
	エリー・テイヴァー	Eli Tavor	
撮影	アダム・グリーンバーグ	Adam Greenberg	
編集	アラン・ジャクボヴィッツ	Alain Jakubowicz	
音楽	ジャック・フィッシュマン	Jack Fishman	
出演	イフタク・カツール	Yftach Katzur	ベンジー
	アナト・アツモン	Anat Atzmon	ニキ
	ジョナサン・サガール	Jonathan Sagalle	ボビー
	ツァッチ・ノイ	Zachi Noy	ヒューイ
	オフエリア・シュトレル	Ophelia Shtrel	ステラ
	レイチェル・スタイナー	Rachel Steiner	マーサ
	ドウヴォラ・キーダー	Dvora Kedar	ベンジーの母

メナシュ・ワーシャウスキー Menashe Warshavsky ベンジーの父